

amazon pay

Amazon Pay
クイックスタートガイド

Date 2018.08.17
Update 2019.02.08



Introduction

本資料はこれからAmazon Payのインテグレーションをする開発者を対象にしています。

インテグレーションガイドやAPIリファレンスを読み進める前に、本資料でAmazon Payの仕組みや機能について理解し、インテグレーションの全体像を把握することで効率的にインテグレーションに関する知識を習得することができます。

Amazon Payとは

ECサイトへAmazon Payのウィジェット(画面の部品)を埋め込む形で実装します。
そのため、購入者はサイトから離れることはありません。実装次第で最短2クリックで注文を完了させることができます。

Amazonアカウントでログイン

配送先、お支払い方法選択

注文

カート

注文確認

注文完了

未ログイン

Amazonログイン


初回

個人情報提供の同意

注文確定処理

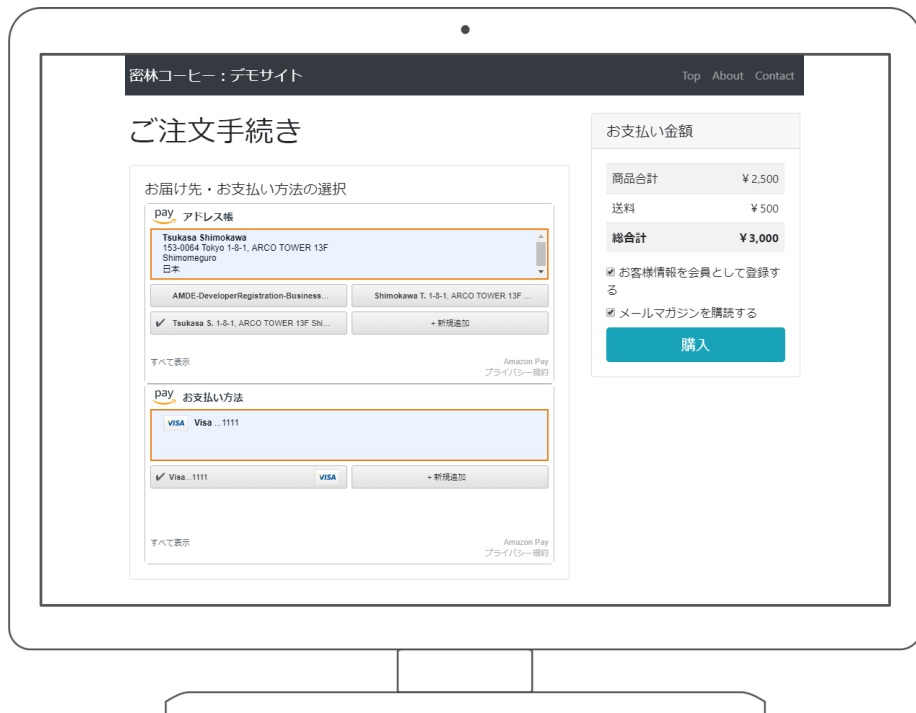
API

Amazon Payが提供する機能

機能	概要	用途
ウィジェット	<p>ログインボタン、アドレス帳、お支払い方法の選択パネルなどの画面の部品です。</p> 	<p>ECサイトに埋め込み、購入者が注文で使用する配送先、お支払い方法を選択できるようにします。また、会員登録の簡易化や登録後のログインにも利用できます。</p>
Amazon Pay API	<p>Amazonと事業者システム間での情報や命令のやり取りをします。</p>	<p>個人情報取得、注文作成、オーソリ、売上請求取消、返金、決済状態の確認 など</p>
IPN (インスタント支払通知)	<p>Amazonが事業者システムへ決済状態の変更やチャージバック発生などを通知します。</p>	<p>非同期処理の結果受取、決済状態の変更時やチャージバック発生時の検知 など</p>
管理システム (Seller Central)	<p>事業者向けAmazon Pay管理機能です。</p>	<p>注文状態確認、売上請求、返金、取消決済レポートのダウンロード など</p>
購入者マイページ	<p>購入者向けAmazon Pay利用履歴です。</p>	<p>利用履歴確認、支払い方法の変更、支払契約の解除(Auto Pay)</p>
購入者向けメール	<p>購入者向け利用状況の確認メールです。</p>	<p>注文確認、売上請求や返金などのタイミングで配信されます。</p>

➤ (補足) Amazon Payが提供する機能: ウィジェット

ウィジェットはレスポンシブデザインを採用しており、デバイスに関係なく同じHTMLコードで全てのデバイスに対応できます。



Amazon Payの実装方式

実装方式	説明	利用対象商品
ワンタイムペイメント	購入者は支払いをする度にECサイト上で手続きが必要です。また、ワンタイムペイメントの注文をオーソリできる期間は最長180日なので、180日以内にオーソリできない商品では利用できません。	・単発商品 ・180日以内にオーソリできる商品
Auto Pay	購入者は初回の支払い手続きで「以降の支払いをAmazon Payで行う」設定をすることで、次回以降は都度ECサイト上での手続きをすること無く注文ができますようになります。 事業者は「*お支払い方法設定同意ウィジェット」を使い購入者が指定したお支払い方法に対して自動で売上請求することに同意を得る(契約を結ぶ)必要があります。	・定期商品 ・頒布会商品 ・180日以内にオーソリできない商品

*お支払い方法設定を有効にするために必要なウィジェットです。



pay

お支払いにAmazon Payを利用する

[詳しくはこちら](#)

> (補足) Amazon Payの実装方式

ワンタイムペイメント

初回

次回以降

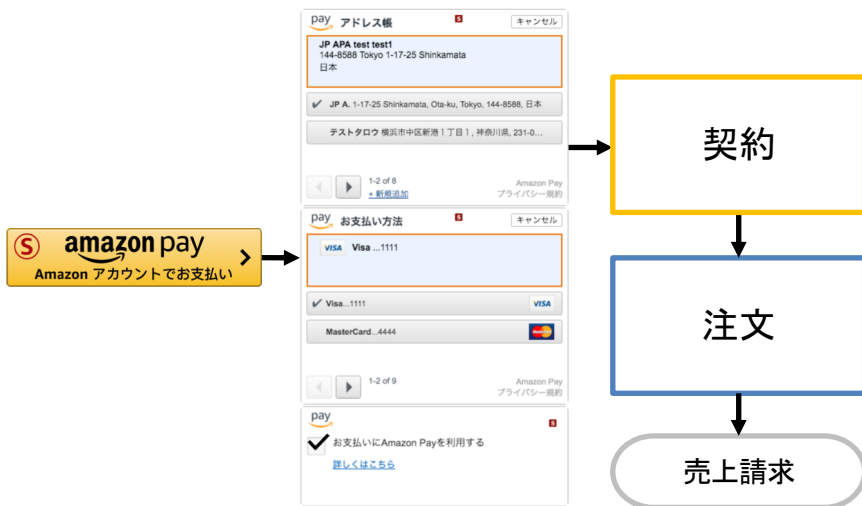
初回と同じ手続き



Auto Pay

初回で設定したお支払い方法で売上請求

購入者の契約の有効性が確認できれば、課金の金額やタイミングは事業者側で制御可能。

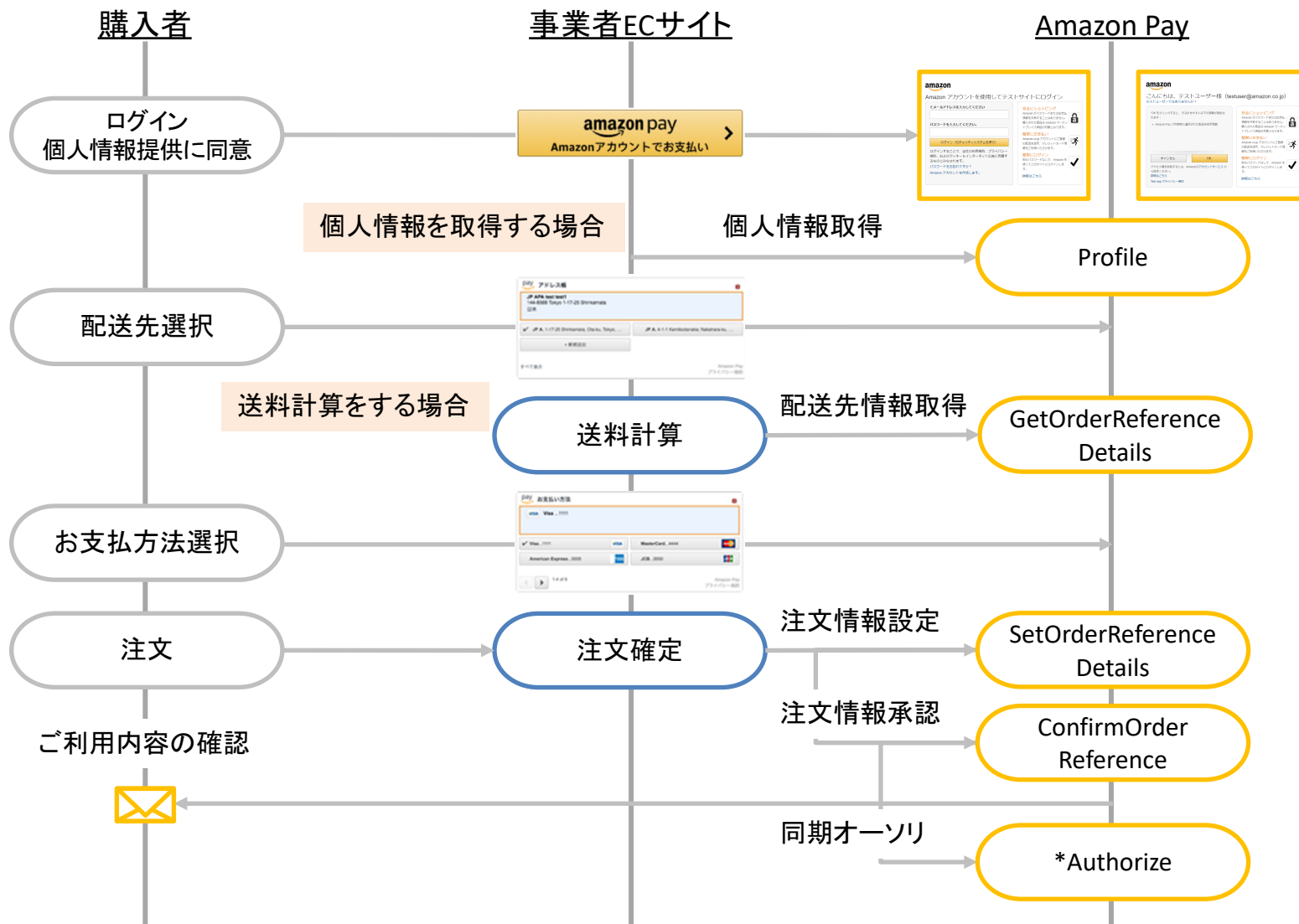


詳細な処理フローについては次ページ以降の説明を確認してください。



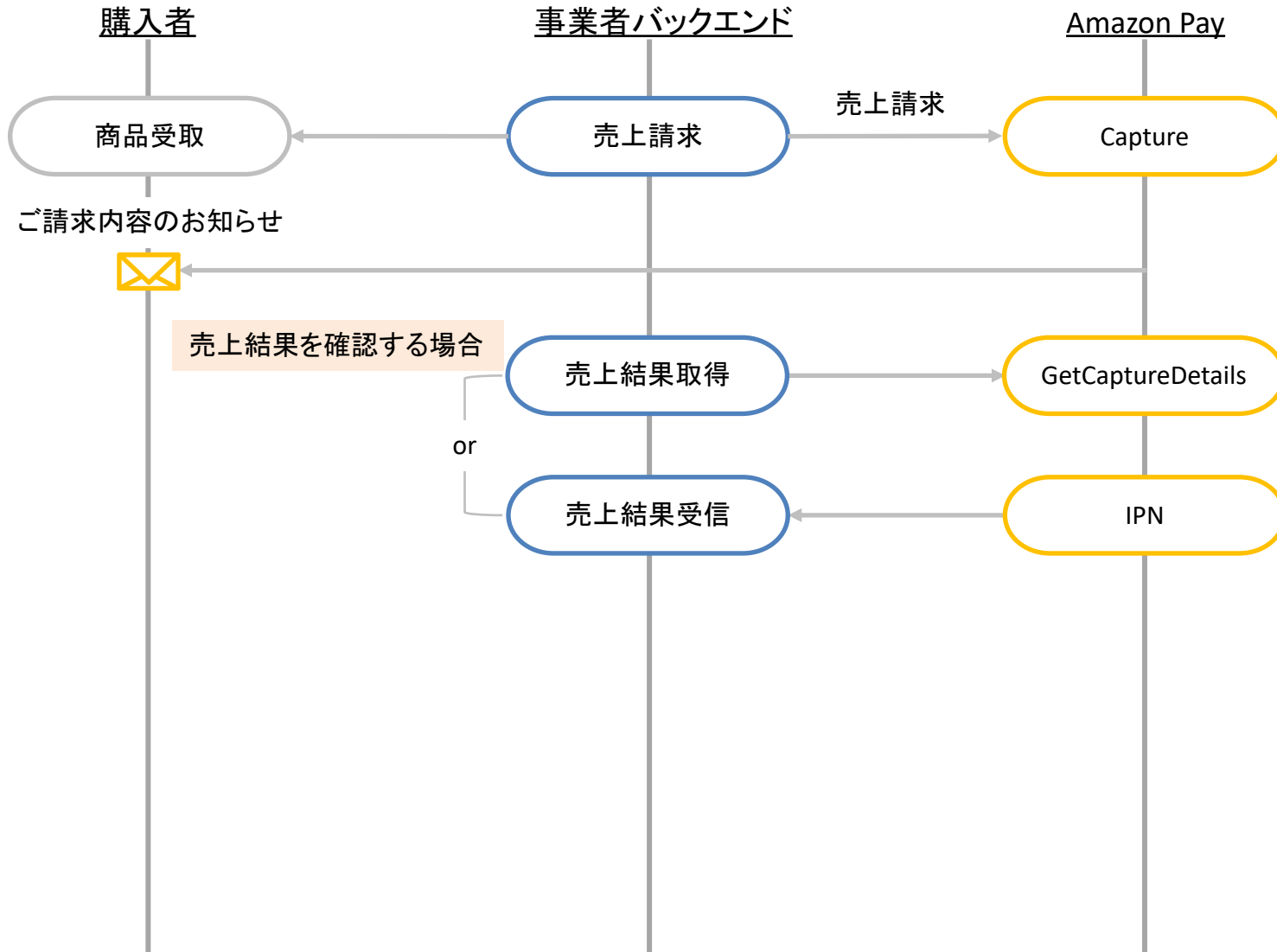
ワンタイムペイメント

> 処理フロー：注文

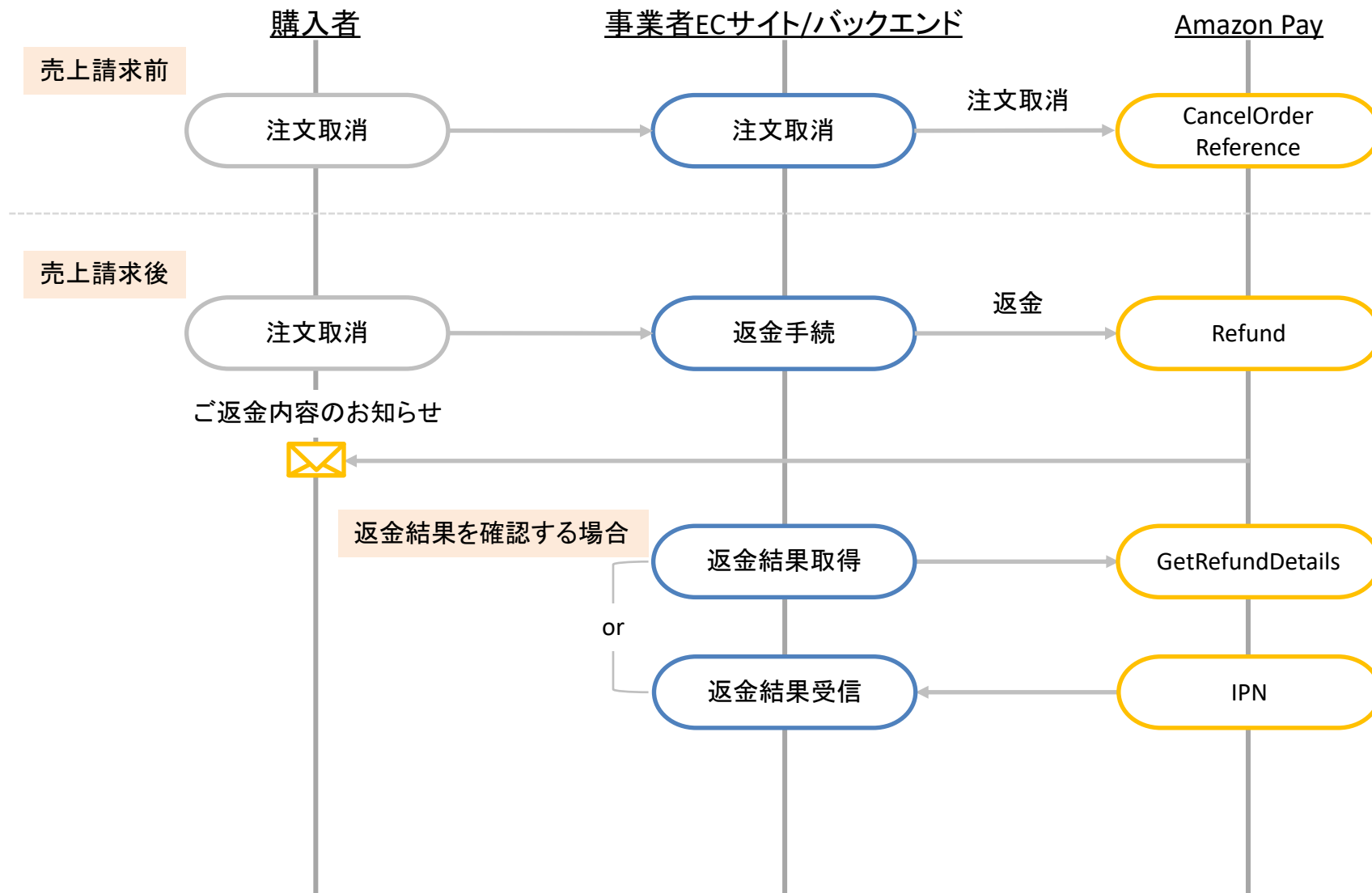


* CaptureNowをtrueに設定して実行することで売上請求も同時に行うことが可能

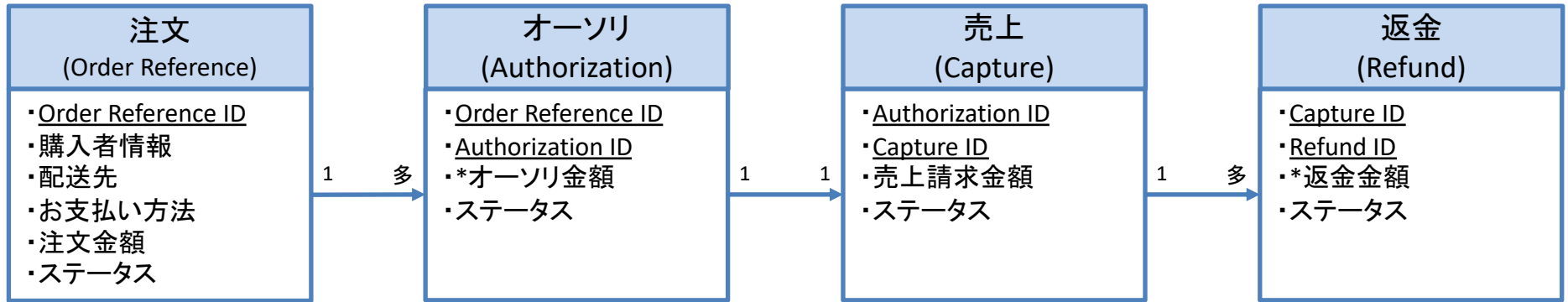
> 処理フロー：売上請求



> 処理フロー：注文取消



オブジェクト



オブジェクト	説明
Order Reference	注文情報を管理するオブジェクトです。ウィジェットが生成し、ウィジェットで選択した配送先とお支払い方法が設定されます。オーソリするにはこのオブジェクトに注文金額を設定し、Order Reference IDに対してAuthorize APIを実行します。オーソリは180日以内であれば実行可能です。
Authorization	Authorize APIによって生成され、オーソリの有効性を管理します。売上請求するにはAuthorization IDに対してCapture APIを実行します。売上請求は30日以内であれば実行可能です。
Capture	Capture APIによって生成され、事業者への支払金額を管理します。返金するにはCapture IDに対してRefund APIを実行します。返金は無期限で実行可能です。
Refund	Refund APIによって生成され、購入者への返金金額を管理します。

*オーソリ金額、返金金額は15%か8400円のどちらか少ない金額まで追加可能です

例 1. 注文金額が10,000円の場合、オーソリ上限金額は11,500円になる。(10,000円 × 0.15 = 1,500円)

例 2. 注文金額が60,000円の場合、オーソリ上限金額は68,400円になる。(60,000円 × 0.15 = 9,000円 → 8,400円を超えるため 8,400円まで追加可能)

ステータス

オブジェクト	ステータス	説明
Order Reference	Draft	Order Referenceが生成された初期状態です。
	Open	オーソリができる唯一の状態です。
	Suspended	オーソリ処理にて支払方法に問題があった状態です。
	Canceled	キャンセルが完了した状態です。
	Closed	明示的にClose処理をしたか、180日を超えた状態です。
Authorize	Pending	オーソリの結果を待っている状態です。
	Open	オーソリが成功し金額を確保した状態です。売上請求ができる唯一の状態です。
	Declined	オーソリの要求が受け入れられなかった状態です。
	Closed	売上請求が完了した状態です。
Capture	Pending	売上請求の結果を待っている状態です。
	Declined	売上請求の要求が受け入れられなかった状態です。
	Completed	売上請求が完了した状態です。返金ができる唯一の状態です。
	Closed	上限まで返金をした状態です。
Refund	Pending	返金の結果を待っている状態です。
	Declined	返金の要求が受け入れられなかった状態です。
	Completed	返金が完了した状態です。

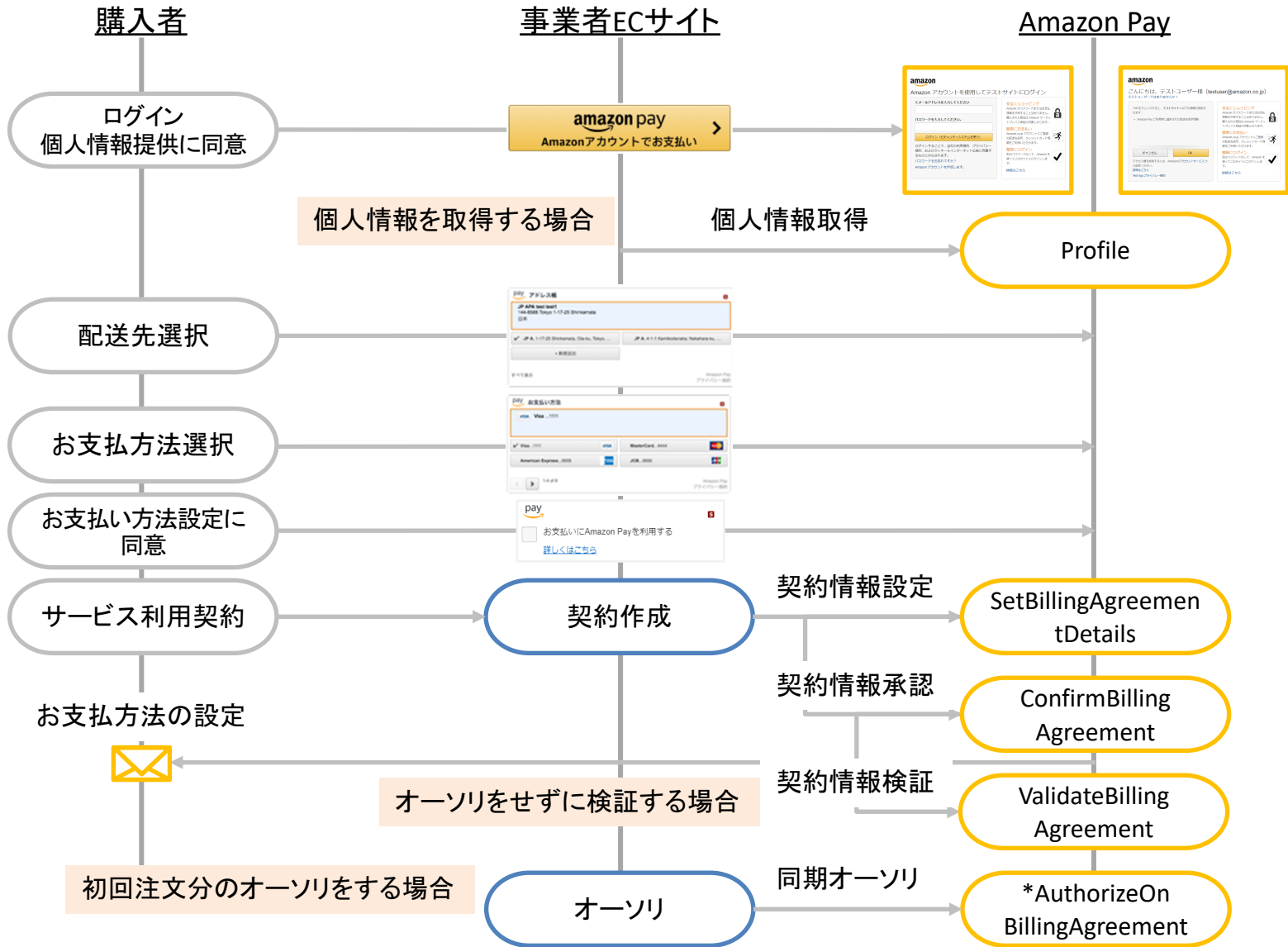
> API一覧

API	説明
Authorize	Order Referenceに設定されている支払方法に対して指定した金額をオーソリします。
CancelOrderReference	Order Referenceをキャンセルします。売上請求している場合はキャンセルできません。
Capture	オーソリ金額から指定した金額を売上請求します。
CloseAuhorization	Authorizationをクローズします。
CloseOrderReference	Order Referenceをクローズします。
ConfirmOrderReference	制約が無く、全ての必須情報が設定されたOrder Referenceを承認します。
GetAuthorizationDetails	Authorizationのステータスと売上請求された合計金額を取得します。
GetCaptureDetails	Captureのステータスと返金された合計金額を取得します。
GetOrderReferenceDetails	Order Referenceに設定された情報とステータスを取得します。
GetRefundDetails	返金の詳細なステータスを返します。
Profile	購入者の個人情報情報を取得します。
Refund	売上請求金額から指定した金額を返金します。
SetOrderReferenceDetails	Order Referenceに注文金額などの属性情報を設定します。



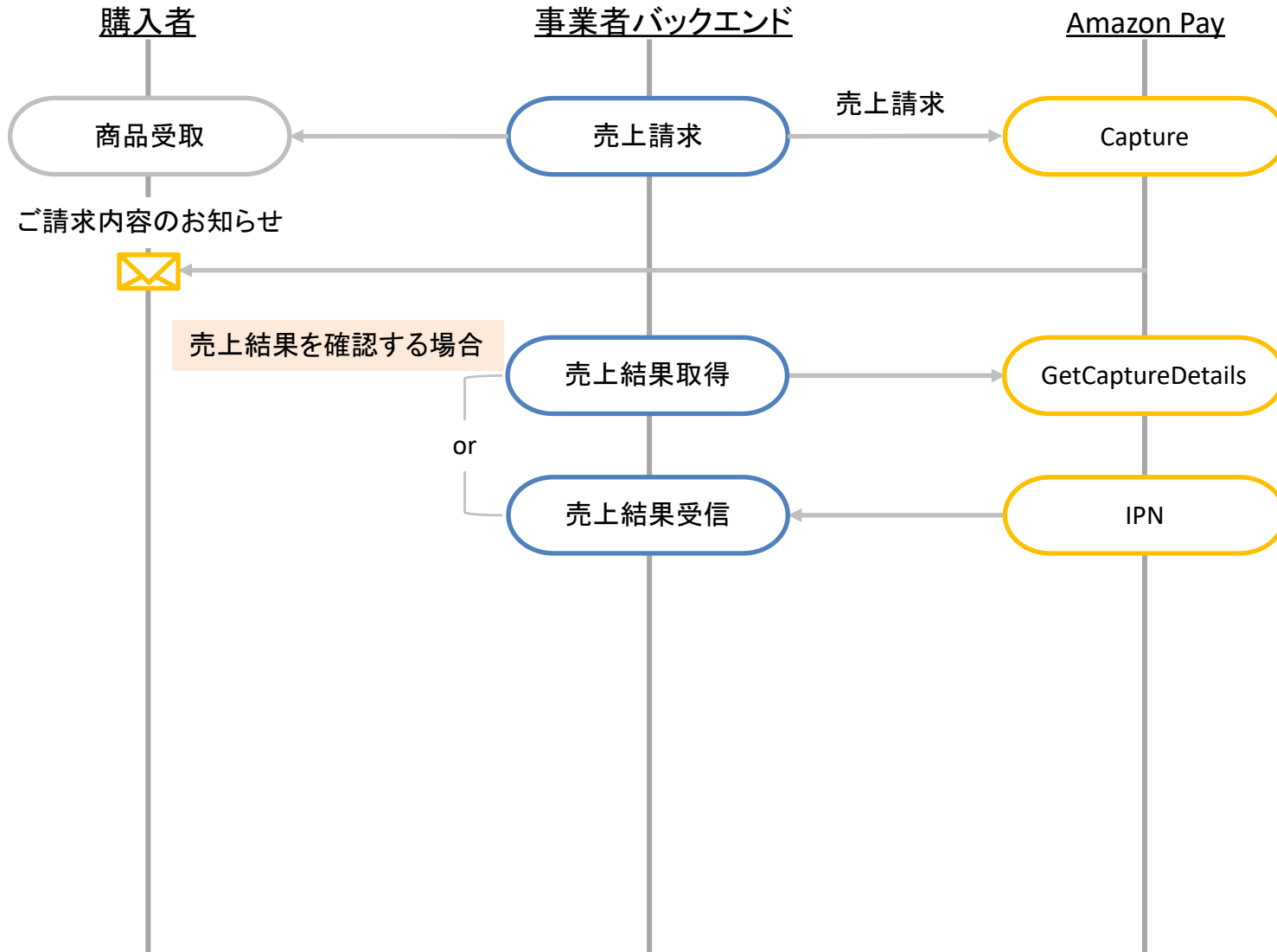
Auto Pay

処理フロー：お支払い方法設定、初回注文

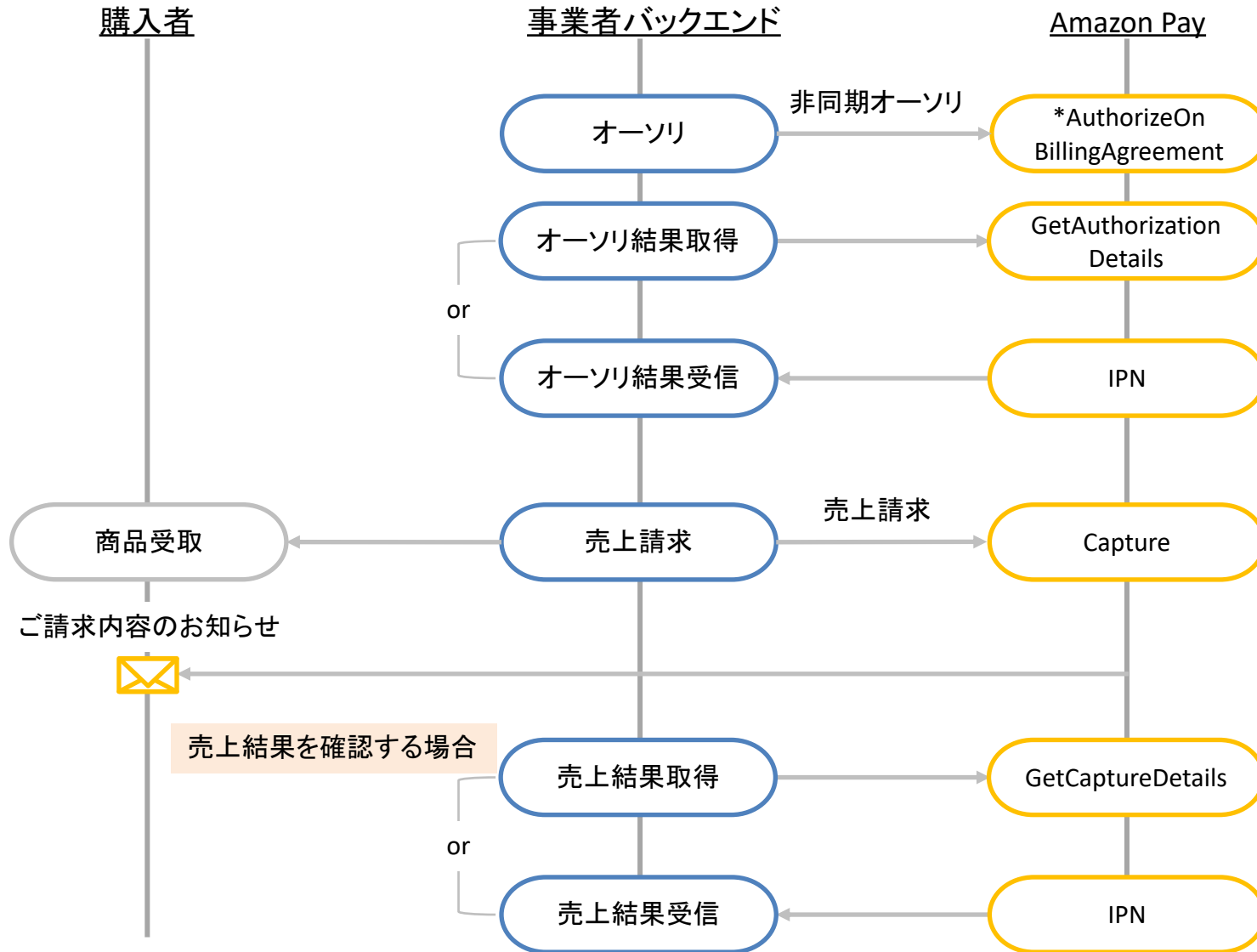


* CaptureNowをtrueに設定して実行することで売上請求も同時に行うことが可能

処理フロー：初回売上請求

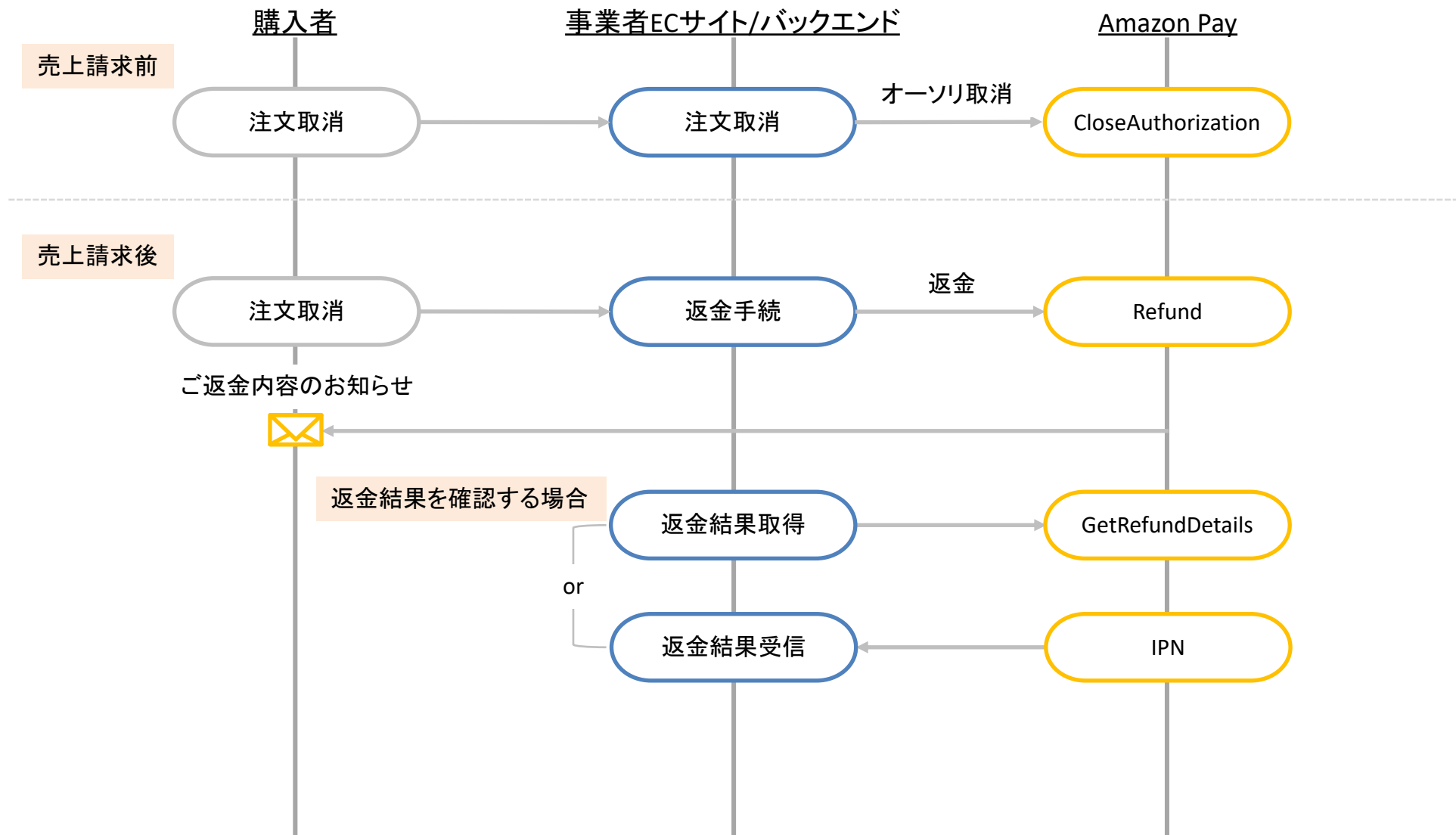


> 処理フロー：2回目以降の注文

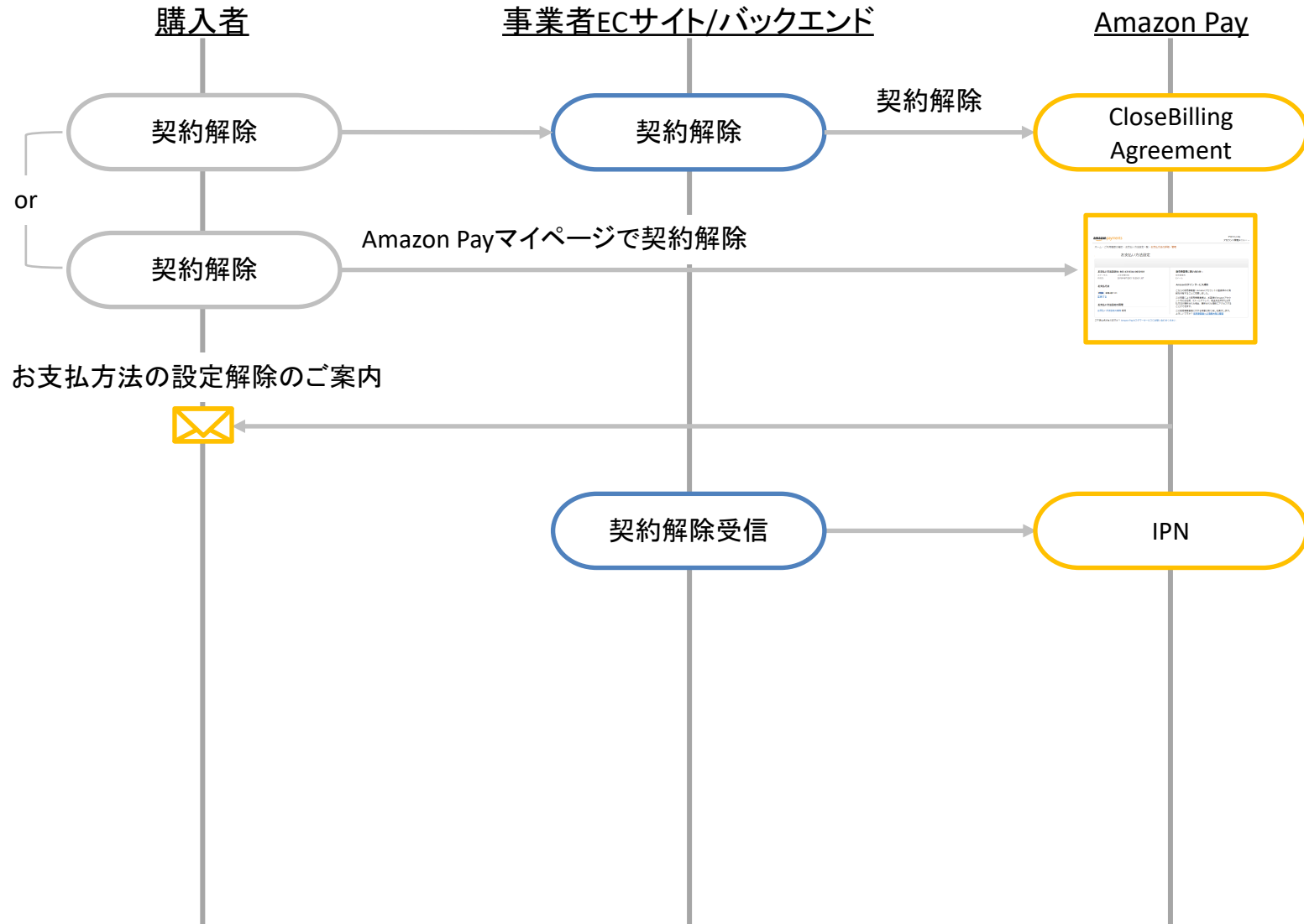


* CaptureNowをtrueに設定して実行することで売上請求も同時に行うことが可能

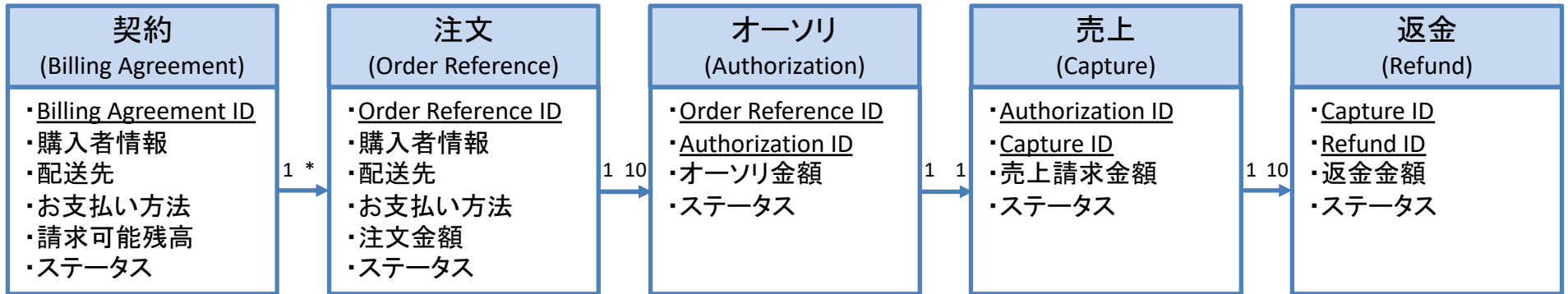
> 処理フロー：注文取消



処理フロー：契約解除



オブジェクト



オブジェクト	説明
Billing Agreement	契約情報を管理するオブジェクトです。ウィジェットが生成し、ウィジェットで選択した配送先とお支払い方法が設定されます。オーソリするにはBilling Agreement IDに対してAuthorizeOnBillingAgreement APIを実行します。オーソリできる金額はBilling Agreement毎に月額50,000円までになります。
Order Reference	注文情報を管理するオブジェクトです。AuthorizeOnBillingAgreement APIによってステータスがClosedの状態では生成されるので、Order Reference IDに対してAuthorize APIは実行できません。
Authorization	AuthorizeOnBillingAgreement APIによって生成され、オーソリの有効性を管理します。売上請求するにはAuthorization IDに対してCapture APIを実行します。売上請求は30日以内であれば実行可能です。
Capture	Capture APIによって生成され、事業者への支払金額を管理します。返金するにはCapture IDに対してRefund APIを実行します。返金は無期限で実行可能です。
Refund	Refund APIによって生成され、購入者への返金金額を管理します。

＞ ステータス

オブジェクト	ステータス	説明
Billing Agreement	Draft	Billing Agreementが生成された初期状態です。
	Open	Order Referenceの生成とオーソリができる唯一の状態です。
	Suspended	オーソリ処理にて支払方法に問題があった状態です。
	Canceled	Draft状態で3時間以上経過してBilling Agreementが無効になった状態です。
	Closed	契約解除などによりBilling Agreementが閉じられた状態です。

*その他のオブジェクトはワンタイムペイメントの内容を参照してください

> API一覧

API	説明
AuthorizeOnBillingAgreement	Billing Agreementに設定されている支払方法に対して指定した金額をオーソリします。
CloseBillingAgreement	Billing Agreementをクローズします。
ConfirmBillingAgreement	制約が無く、全ての必須情報が設定されたBilling Agreementを承認します。
CreateOrderReferenceForId	Billing Agreementに設定された情報を使いOrder Referenceを生成します。
GetBillingAgreementDetails	Billing Agreementに設定された情報とステータスを取得します。
SetBillingAgreementDetails	Billing Agreementに契約内容の説明などの属性情報を設定します。
ValidateBillingAgreement	Billing Agreementの有効性を検証します。

*その他のAPIはワンタイムペイメントの内容を参照してください



付録

開発者向け情報

amazon pay 販売事業者様 認定制度 イベント ニュース サポート 購入者様 ログイン 販売事業者様お申込み

開発者向け情報

はじめに

クイックスタートガイド

Amazon Payのインテグレーション全体を説明したガイドです。(PDF)

インテグレーションガイド

ワンタイムペイメント

通貨購入について説明したガイドです。

Auto Pay

Auto Pay機能（お支払い方法設定/定期支払い）について説明したガイドです。

Alexaスキル向けAmazon Pay

Alexaスキル向けAmazon Payについて説明したガイドです。

APIリファレンス

Amazon Payで利用できるAPIのリファレンスです。

インテグレーションFAQ

インテグレーションに関するよくいわれる質問をまとめました。(PDF)

SDKとサンプル

php java Ruby python C#

開発補助ツール

Scratch Pad

APIへのRequestや、APIからのResponseを設定するツールです。

Code Generator

サンプルコードを自動生成するツールです。

セルフチェックシート

テストケースの事前確認と実装レベルの確認にご利用ください。

ユーザーエクスペリエンスガイド

Amazon Payの導入にあたって、より高い導入効果の期待できる推奨実装事例を紹介します。

メディア掲載情報 サポート 導入に関するお問い合わせ 採用情報

Amazon Company
©2018 Amazon.com, Inc. or its Affiliates
利用規約 プライバシー規約 マーケットプレイス保証

- **ワンタイムペイメント・Auto Pay機能**
ウィジェット・APIの実装方法を解説しています
- **APIリファレンス**
API仕様・ステータス遷移・エラーコードを解説しています
- **よくあるご質問**
アカウント情報・配信メール等の補足説明となるので必ずご確認ください
- **SDKとサンプル**
API連携の開発効率化のため活用してください
- **Scratch Pad**
APIのリクエストパラメータ、レスポンス結果の検証ができます
- **Code Generator**
ウィジェットのサンプルコードを生成できます
- **セルフチェックシート**
テストをする際の観点を紹介しています
- **ユーザーエクスペリエンスガイド**
より高い導入効果が期待できる推奨実装事例を紹介しています

<https://pay.amazon.com/jp/developer/documentation>